

第3章

計画の基本的な考え方と 日常生活圏域の設定

1

基本理念と計画目標**(1) 福祉3計画の共通理念**

第9期計画の上位計画である「第3期八潮市地域福祉計画」では、同計画の基本理念を本市の福祉3計画（「八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「八潮市子ども・子育て支援事業計画」「八潮市障がい者行動計画・八潮市障がい福祉計画」）の「共通理念」として位置付けることとしています。

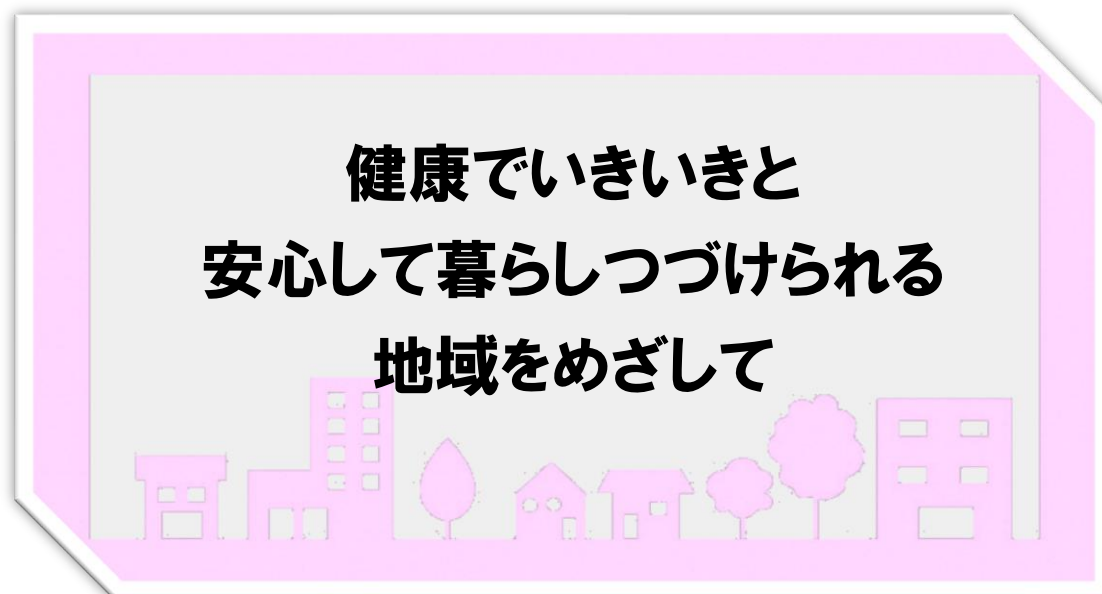
**地域における多様な主体が
それぞれの役割を担いながら協働し、
福祉の力を高める地域づくり**

人と地域の絆は、地域社会を構成するあらゆる人たちがそれぞれの役割を担いながらともに手を取り合い、その多様な活動が結びついて初めて生まれるものであることから、互いの絆を深めていくために地域福祉の推進という共通の目的に向かい、力を合わせ協力していく協働の取組が必要となります。

地域社会を構成するあらゆる人たちが協働することで多様な課題を発見し、解決することができる福祉の力が高まるような地域づくりを進めます。

(2) 基本理念

第9期計画では、上位計画である「第3期八潮市地域福祉計画」における福祉3計画の共通理念を踏まえ、基本理念を次のとおり定めます。

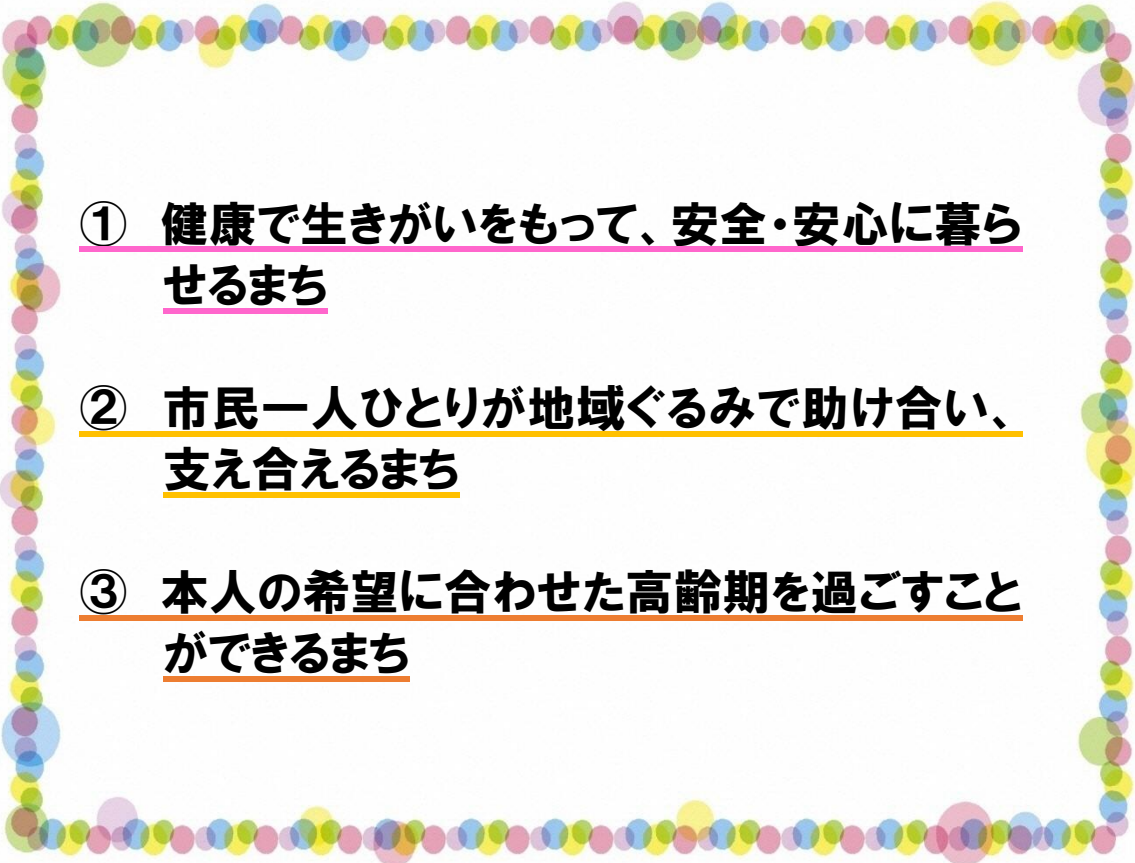


本市は、「第7期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」以来、「健康でいきいきと安心して暮らしてつづけられる地域をめざして」を基本理念に掲げ、高齢者保健福祉施策を展開してきました。

第9期計画においても、引き続き「健康でいきいきと安心して暮らしてつづけられる地域をめざして」を基本理念に掲げ、支援が必要となった人を地域ぐるみで支え合うまちづくりを進めます。このことは本市の総合計画の理念や将来都市像、福祉3計画の共通理念にも通じる内容であり、令和2年度の介護保険法改正によって地方公共団体が実現に向けて取り組むことが責務とされた「地域共生社会」の形成に通じる概念であると考えます。

(3) 計画目標

令和 22 年（2040 年）を見据えて中長期的な本市の高齢者像を視野に入れながら、地域共生社会の実現に向けて必要な取組を実施する計画であるという位置付けを踏まえて、第9期計画の基本理念の実現のために、3つの計画目標を定めます。

- 
- ① 健康で生きがいをもって、安全・安心に暮らせるまち
 - ② 市民一人ひとりが地域ぐるみで助け合い、支え合えるまち
 - ③ 本人の希望に合わせた高齢期を過ごすことができるまち

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

資料編

2

日常生活圏域の設定

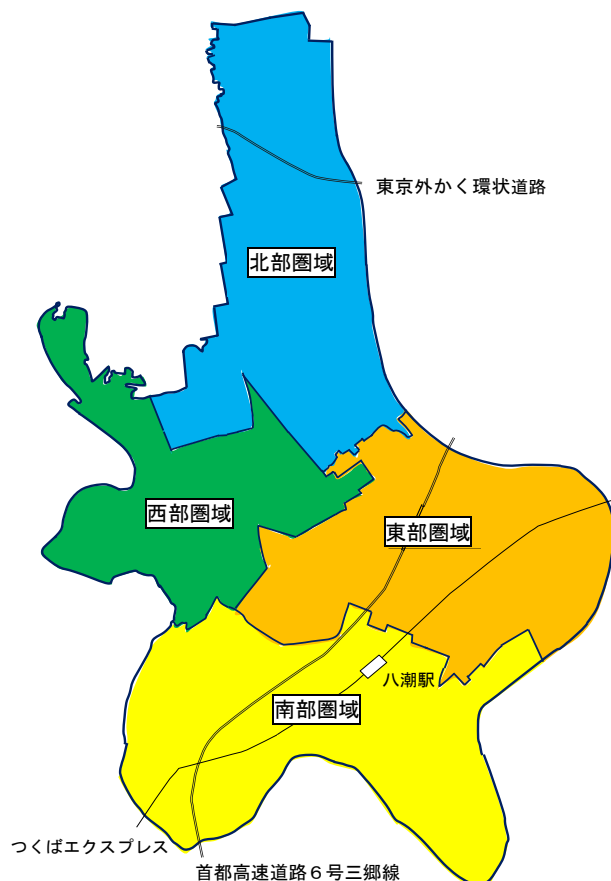
(1) 日常生活圏域の考え方

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、身近な地域に保健・医療・福祉・介護等の基盤が整備され、サービスを利用できることが必要です。そのため、「日常生活圏域」を設定して圏域ごとにサービス基盤等の整備を進めることが求められています。

本市では、市の面積、人口、交通環境、介護施設・介護サービス事業者等の立地等の状況を考慮して、「東部圏域」「西部圏域」「南部圏域」「北部圏域」の4圏域を設定しました。各圏域に地域包括支援センターを配置して高齢者の総合的な支援を行っています。

第9期計画期間についても、引き続き地域包括支援センターを核として、各圏域で高齢者の総合的な支援を行います。

■ 日常生活圏域



地域包括支援センターでは、地域で暮らす高齢者を保健・医療・福祉・介護など様々な面から総合的に支援するため、「主任介護支援専門員*（主任ケアマネジャー）」「社会福祉士*」「保健師等」の3職種がチームを組み、高齢者のニーズに応じて地域にある様々な社会資源を活用しながら対応しています。

■日常生活圏域及び地域包括支援センター

圏域名	地域包括支援センター	担当地域
東部	東部地域包括支援センター やしお苑 所在地：南川崎 210-1	二丁目、木曽根、南川崎、伊勢野、八潮一丁目～四丁目・六丁目
西部	西部地域包括支援センター ケアセンター八潮 所在地：鶴ヶ曽根 1184-4	小作田、松之木、上馬場、中馬場、西袋、柳之宮、南後谷、中央一丁目～四丁目、八潮七丁目・八丁目、緑町一丁目・二丁目・四丁目
南部	南部地域包括支援センター 埼玉回生病院 所在地：大原 455	大瀬、古新田、圻、大原、大曽根、浮塚、八潮五丁目、大瀬一丁目～六丁目、茜町一丁目
北部	北部地域包括支援センター やしお寿苑 所在地：八條 294-4	八條、鶴ヶ曽根、伊草、新町、緑町三丁目・五丁目、伊草一丁目・二丁目

(2) 各圏域の状況

(ア) 東部圏域の概況

東部圏域は、市の中央部から東側に位置しており、地区の東側で中川に接しているほか、つくばエクスプレスと首都高速道路6号三郷線が地区内を貫いています。地区内の南川崎には高齢者福祉施設やしお苑と勤労者福祉・スポーツセンター（ゆまにて）が、木曾根には老人福祉センター寿楽荘が所在しています。

人口は 24,711 人、高齢者人口は 5,178 人であり、高齢化率は 21.0%となっています。



■東部圏域の主要データ

人口	24,711 人（令和5年10月1日現在）		
高齢者人口（高齢化率）	5,178 人（令和5年10月1日現在） 高齢化率 21.0%		
75歳以上人口	2,922 人（令和5年10月1日現在）		
要支援・要介護認定者数 （令和5年8月1日現在）	要支援認定者* 158人	要支援1	74人
		要支援2	84人
	要介護認定者 616人	要介護1	214人
		要介護2	131人
		要介護3	98人
		要介護4	92人
要介護5	81人		
認知症日常生活自立度Ⅱb以上の人の数（令和5年8月1日現在）			774人
介護保険施設等の状況 （令和5年4月1日現在） ※人数は定員。	広域型施設等	特別養護老人ホーム	1か所 80人
		介護老人保健施設	—
		特定施設入居者生活介護 （有料老人ホーム）	3か所 189人
		サービス付き高齢者向け住宅	—
	軽費老人ホーム	—	
	地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	1か所 18人
		小規模多機能型居宅介護	1か所 29人
地域密着型通所介護		1か所 10人	
地域包括支援センター	1か所 東部地域包括支援センターやしお苑		

(イ) 西部圏域の概況

西部圏域は、市の中央部から西側に位置しており、地区内には綾瀬川が流れています。行政機能の中心である八潮市役所をはじめ、保健センター、八潮メセナ、八幡公民館、八幡図書館等の行政機関や教育機関が立地しています。

人口は 20,817 人、高齢者人口は 5,344 人であり、高齢化率は 25.7%となっています。



■西部圏域の主要データ

人口	20,817 人 (令和 5 年 10 月 1 日現在)		
高齢者人口 (高齢化率)	5,344 人 (令和 5 年 10 月 1 日現在) 高齢化率 25.7%		
75 歳以上人口	3,032 人 (令和 5 年 10 月 1 日現在)		
要支援・要介護認定者数 (令和 5 年 8 月 1 日現在)	要支援認定者 202 人	要支援 1	106 人
		要支援 2	96 人
	要介護認定者 654 人	要介護 1	235 人
		要介護 2	125 人
		要介護 3	120 人
		要介護 4	116 人
要介護 5	58 人		
認知症日常生活自立度 II b 以上の人の数 (令和 5 年 8 月 1 日現在)			856 人
介護保険施設等の状況 (令和 5 年 4 月 1 日現在) ※人数は定員。	広域型施設等	特別養護老人ホーム	—
		介護老人保健施設	—
		特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	—
		サービス付き高齢者向け住宅	1 か所 50 人
	軽費老人ホーム	—	
	地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	2 か所 36 人
		小規模多機能型居宅介護	—
地域密着型通所介護		2 か所 28 人	
地域包括支援センター	1 か所 西部地域包括支援センターケアセンター八潮		

(ウ) 南部圏域の概況

南部圏域は、市の南側に位置しており、地区内には中川、圀川、大場川が流れているほか、つくばエクスプレスと首都高速道路6号三郷線が地区内を貫いています。地区内の大瀬には八潮市役所駅前出張所があります。

人口は 30,925 人、高齢者人口は 5,208 人であり、高齢化率は 16.8%となっており、市内4圏域で高齢化率が最も低くなっています。



■南部圏域の主要データ

人口	30,925 人 (令和5年10月1日現在)		
高齢者人口 (高齢化率)	5,208 人 (令和5年10月1日現在) 高齢化率 16.8%		
75歳以上人口	2,890 人 (令和5年10月1日現在)		
要支援・要介護認定者数 (令和5年8月1日現在)	要支援認定者 155 人	要支援1	75 人
		要支援2	80 人
	要介護認定者 639 人	要介護1	224 人
		要介護2	142 人
		要介護3	102 人
		要介護4	108 人
	要介護5	63 人	
認知症日常生活自立度Ⅱb以上の人の数 (令和5年8月1日現在)	794 人		
介護保険施設等の状況 (令和5年4月1日現在) ※人数は定員。	広域型施設等	特別養護老人ホーム	1 か所 120 人
		介護老人保健施設	—
		特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	3 か所 178 人
		サービス付き高齢者向け住宅	1 か所 27 人
		軽費老人ホーム	—
	地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1 か所 18 人
		小規模多機能型居宅介護	1 か所 29 人
地域包括支援センター	1 か所	南部地域包括支援センター埼玉回生病院	

(エ) 北部圏域の概況

北部圏域は、市の北側に位置しており、地区の東側で中川に接しているほか、東京外かく環状道路が地区内を東西に貫いています。地区内の八條には老人福祉センターすえひろ荘とコミュニティセンターが、鶴ヶ曽根にはエイトアリーナ、やしお生涯学習館が所在しています。

人口は 16,393 人、高齢者人口は 5,224 人であり、高齢化率は 31.9%となっており、市内4圏域の中で最も高齢化率が高くなっています。



■北部圏域の主要データ

人口	16,393 人 (令和5年10月1日現在)		
高齢者人口 (高齢化率)	5,224 人 (令和5年10月1日現在) 高齢化率 31.9%		
75歳以上人口	3,086 人 (令和5年10月1日現在)		
要支援・要介護認定者数 (令和5年8月1日現在)	要支援認定者 191 人	要支援1	89 人
		要支援2	102 人
	要介護認定者 610 人	要介護1	228 人
		要介護2	137 人
		要介護3	103 人
		要介護4	92 人
	要介護5	50 人	
認知症日常生活自立度Ⅱb以上の人の数 (令和5年8月1日現在)			801 人
介護保険施設等の状況 (令和5年4月1日現在) ※人数は定員。	広域型施設等	特別養護老人ホーム	1 箇所 100 人
		介護老人保健施設	1 箇所 150 人
		特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	1 箇所 39 人
		サービス付き高齢者向け住宅	—
		軽費老人ホーム	1 箇所 50 人
	地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1 箇所 27 人
		小規模多機能型居宅介護	—
	地域密着型通所介護	1 箇所 10 人	
地域包括支援センター	1 箇所 北部地域包括支援センターやしお寿苑		

3

計画の体系

計画目標	基本目標	施策の柱	主な取組
I 健康で生きがいをもって、安全・安心に暮らせるまち	基本目標1 いきいきと活力ある高齢期を過ごすための取組	(1) 高齢者の健康づくりと地域福祉活動等への参加促進	①地域交流の促進 ②老人福祉センター事業 ③高齢者の憩いの場づくり ④各種団体への支援 ⑤長寿祝金支給事業 ⑥思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）の周知 ⑦健康づくり事業＜保健センター＞
		(2) 介護予防の推進	①フレイルチェック事業 ②一般介護予防事業 ③介護予防・生活支援サービス事業
		(3) 高齢者の住まいの支援	①軽費老人ホーム ②有料老人ホーム ③サービス付き高齢者向け住宅 ④養護老人ホーム ⑤高齢者居室等整備資金融資制度 ⑥高齢者世帯等住み替え住宅家賃助成事業
II 市民一人ひとりが地域ぐるみで助け合い、支え合えるまち	基本目標2 住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組	(1) 高齢者を支えるつながりづくりの推進	①高齢者相談窓口の充実 ②地域包括支援センター事業 ③地域包括支援センター運営協議会 ④地域ケア会議 ⑤生活支援体制の充実
		(2) 地域で見守る高齢者支援体制の推進	①高齢者の見守り体制の充実 ②高齢者在宅福祉サービス ③高齢者の権利擁護支援
		(3) 社会福祉協議会との連携	①生涯学習活動の啓発事業＜社会福祉協議会＞ ②各種福祉事業＜社会福祉協議会＞
	基本目標3 認知症にやさしいまちづくりのための取組	(1) 認知症等に関する啓発の推進	①認知症等に関する啓発 ②認知症サポーターの養成と活動支援
		(2) 認知症の早期発見・早期対応と介護者支援の充実	①認知症の早期発見・早期対応 ②認知症の人を介護する家族の支援
基本目標4 介護保険サービスの充実に向けた取組	(3) 認知症バリアフリーの推進	①認知症バリアフリーの取組	
	(1) 介護サービスの提供と基盤整備の推進	①居宅サービス ②施設サービス ③地域密着型サービス ④基盤整備の推進	
		(2) 介護保険事業の円滑な実施のための取組の推進	①情報提供体制の充実 ②介護サービス相談員の派遣 ③家族介護者の支援と介護離職防止の促進 ④介護給付等の適正化 ⑤介護認定審査会の効率化 ⑥介護保険サービス利用者負担補助事業 ⑦感染症対策と災害時対応
		III 本人の希望に合わせた高齢期を過ごすことができるまち	基本目標5 住み慣れたところで最期まで暮らし続けられるための取組